

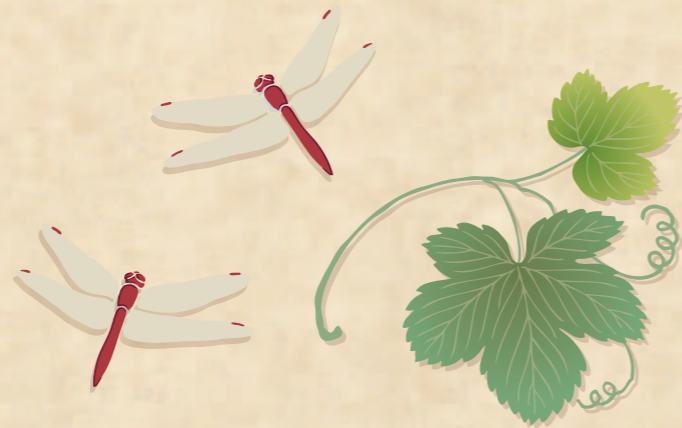
# しあわせ

vol.  
08

2014年9月




**【トピックス】**  
**無財の七施** ..... 会長 松原義人  
**【法人との出会い⑤】**  
**24年間の思い出** ..... 理事 谷村和治  
**【施設ホットニュース】** 新施設長よりご挨拶  
**施設長に就任して** ..... 京都桂川園 園長 鎌田松代  
**ホーム長に就任して** ..... ライフ・イン京都 ホーム長 青山 薫  
**【施設ナウ!】**  
**今夏・今秋の催し物**



法人職員 2,200名

法人誕生より 99年

 社会福祉法人 京都社会事業財団  
Kyoto Social Welfare Foundation

## 各施設の所在地



京都桂病院  
 京都桂看護専門学校  
 にしがも舟山庵  
 にしがも透析クリニック  
 成逸センター  
 京都厚生園  
 にしがも舟山庵  
 にしがも透析クリニック  
 西陣病院  
 北野保育園  
 京都厚生園松尾の家  
 京都厚生園山田の家  
 つばさ園  
 ゆずの木ホーム  
 松陽児童館  
 ライフ・イン京都  
 北野保育園  
 成逸センター  
 西陣病院  
 二条保育園  
 二条保育園  
 昭和保护園  
 京都桂川園  
 玉頭の家  
 京都桂川園久世障害サービスセンターショートステイ

 社会福祉法人 京都社会事業財団  
Kyoto Social Welfare Foundation

# 無財の七施



社会福祉法人 京都社会事業財団  
会長 松原 義人

## 無財の七施

- ◆ 眼施(慈眼施)
- ◆ 和顔悦色施(和顔施)
- ◆ 言辞施(愛語施)
- ◆ 身施(捨身施)
- ◆ 心施(心慮施)
- ◆ 床座施(牀座施)
- ◆ 房舎施

の人の役に立つてあげることです。

◆ 心施……前述の四つの行為に真心や誠意がこもっていないければ、それは本物とは言えません。他の人の悲しみや苦しみを共感して、温かい心配りで親身になって対応することです。

◆ 床座施……自分が先に占めていた場所を、常に必要な人に気持ちよく譲ってあげることです。障害のある人のための優先座席や専用駐車スペースを占拠することは論外です。

◆ 房舎施……房舎は家屋のことです。ゆつくり話せる雰囲気や住みやすい良い家、すなわち、そのような環境を提供することです。

以上のようなことは、特別な知識や技能がなくても、またお金をかけなくても、本当に誰でも簡単にできる、当たり前のことばかりです。皆さん方も「無財の七施」を心にとめて、ほんの些細なことでも実行していただきたいと思う次第です。

仏教典の「雑宝藏経」で説かれている「無財の七施」は、誰でも何がなくてもできる七つの実践で、大きな果報をもたらすとされています。

◆ 眼施……眼は心の鏡、また口ほどにものを言うともいわれます。人に優しい、思いやりのある慈しみに満ちた眼差しを向けることです。

◆ 和顔悦色施……柔和で、優しく、温かい微笑みを湛えた表情で接することです。そうすれば、人に安心感を与えます。

◆ 言辞施……気持ちのよい、やさしく、温かい愛情のこもった言葉で話かけることです。相手を傷つけるような言葉遣いはだめです。言葉はコミュニケーションの大事な手段であり、人間関係の根幹を成すものです。

◆ 身施……骨身を惜しまず、身体的な奉仕をすることです。ボランティアで色々な社会活動をすることも大事ですが、どんな小さなことでも何か困っている人に自分のからだを使って、そ

## 法人との出会い⑤

# 24年間の思い出



理事 谷村 和治

私は、昭和43年に検事を退官して、大阪で弁護士登録をしましたが、京都在住のため、京都の方々からも知遇を得て参りました。

私が本法人に関与したのは平成2年当時経営難の西陣病院の建直しを図る目的で、翌3年4月に山下会長より財政状態等の是正と経営指導のため本法人の顧問を委嘱されたのが始まりでした。現伊藤事務局長とともに病院や関連先の不要資産の処分や不公平な契約の是正、利害関係の絡む困難な問題の処理等に相当な時間と労力を費やした結果、病院の財務体質改善と運営の透明化を進めることができ、10年後には病院の経営は健全な状態となりました。

その後、私は山下会長の委嘱を受けて、平成16年4月に本法人から独立した大津

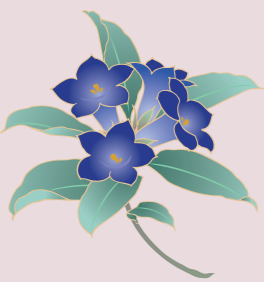
の特別養護老人ホーム「桐生園」を運営する社会福祉法人「桐生会」、同年11月に「ライフ・イン京都」を運営する財団法人京都ライフクリエイト事業団の各理事を受任しました。平成20年12月の公益法人制度改革で同事業団が5年以内に公益財団の認定を受けるか、一般財団で存続するか、解散するかを選択を迫られる事態となった際、山下会長から委嘱を受けて、平成21年4月に本法人理事を受任しました。

同事業団は平成23年2月に京都府に公益財団認定を申請しましたが、事業内容から公益財団認定は困難とされ、一般財団では残余財産の公益目的支出が義務付けられるので、解散して関係の深い本法人に事業譲渡し、残余財産も寄付するのが最良と判断され、理事会・評議員会の

決議で平成24年3月31日に解散し、翌4月1日から本法人の公益事業として承継されるに至りました。

元々、山下会長はライフ・イン京都を本法人の施設にする目的で昭和61年に京都桂病院の敷地の一部を提供されましたが、当時本法人が有料老人ホームを運営できなかったため、財団法人を新設して本法人から敷地を寄付された経緯があり、その後の法改正で運営が可能となったため、今回の事業譲渡ができたもので山下会長の喜びは一しおでした。

現在、本法人は12施設を有し、医療や介護、高齢者福祉、保育等の多様な福祉サービスを行っており、私は各施設の皆さんが日々職務に励まれていることに敬意を抱いています。本法人が各施設を支援する組織として更に充実し、福祉向上に一層貢献されることを願っております。





## ホーム長に就任して

ライフ・イン京都 ホーム長 青山 薫



平成26年4月に、ライフ・イン京都のホーム長を拝命し、早や5か月が経ちました。初めての経験に緊張したり、戸惑ったりしながら、周りの皆様のお力をお借りして、何とか走り続けてこられたというのが実感です。

その間、法人の皆様方には、暖かい励ましのお言葉や、実際にいろいろな場面でご支援をいただき、改めて社会福祉法人京都社会事業財団の事業所であることのありがたさと心強さを感じることができました。今後、さらに法人について学び、また、各事業所の皆さまとも交流を深めさせて頂きたいと存じます。

私どものライフ・イン京都には本体事業である介護付有料老人ホーム（介護保険に係る部分は特定施設入居者生活介護及び介護予防特定施設入居者生活介護事業所）と、併設のライフ・イン京都診療所、ライフ・イン京都居宅介護支援事業所があります。

介護付有料老人ホームには、入居時、満55歳以上で身辺のことが自分でできる方は本館の一般居室、満65歳以上で要介護1以上の方はケアセンターの介護居室にご入居いただけます。現在は300名の方がそれぞれの「家」としてお暮しいただいております。

お元気な時からご入居いただき、お仕事に通われたり、リタイアして国内外を旅行されたりと生き生きとした毎日をお過ごしいただいた後に、お年を召して重度の介護が必要になられても最期までお暮しいただける先進的なホームとして誕生し、今年の11月で開設28年目を迎えます。開設



## 施設長に就任して

京都桂川園 園長 鎌田 松代



今年度4月より、山岸孝啓前園長の後任として、園長に就任しました。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

京都桂川園の近況などを報告します。職員は、昨年の開所15周年特別企画シンポジウム「来るぞー新しい波が!!」から変化が見られます。開催時に松原義人会長や、シンポジストでご出席の法人役員の方に職業人として、人としての「座右の銘」をいただいた色紙を園の玄関に飾っています。職員は折にふれ読み、励みや戒めにし、仕事をしています。松原義人会長からは「誠心誠意」。シンポジストの大島康男常務理事は「和顔愛語」、野口雅滋理事は「無私無欲」、太田勝己理事（初代京都桂川園 園長）は「一所懸命」、山岸孝啓前園長は「夢線に触れることを大切にし、感動や感銘を受ける気持ち」です。

そのシンポジウムで、法人や京都桂川園の歴史、法人がある地域で求められている医療・福祉、進むべき方向、人生の先輩からの教訓、初代園長の開所時の思いなどを聞き、法人を身近に理解し、また法人内の施設としての役割、仕事への姿勢、人としてあるべき姿を学びました。職員の感想は「大先輩の話聞いて、思いを引き継ぎ、良さを残していかなければいけないと感じた」、「京都桂川園」の名のもとに縁あって集まった人たちと同じ時間を共有し一緒に波を乗り切っていこうという気持ちになった」などがあり、法人の一員として仕事をしていることがとても誇りで、その中でしっかりと働くという自覚

が生まれたようです。しかし、人材育成には悩みが多く試行錯誤しながら進んでいる現状があります。また、福祉の仕事希望する方が少なく、退職希望者が出てくると、後任配置に苦慮しています。

16年目の京都桂川園の目標は「当事者視点です。理解していても日々の忙しさから、職員目線で、業務や利用者さんの生活リズムを動かしてしまいがちになります。そこを見直し、改善しようとしています。部署ごとのスタッフ会議や園内研修会も当事者視点をもって議論し学ばせているのですが、一足飛びにはいかないのもまた現実です。

これまで念願の引きこもりがちな方の居場所づくりとしてコミュニティカフェ「たまかふえ」を7月より開始しました。施設のある川岡東学区社会福祉協議会が開催する地域サロン「ひまわりサロン」のサテライトとしても位置付けていただき、学区社協の役員さん、ボランティアさんの支援もいただいています。認知症介護で悩まれているご主人が病気の奥様を連れて参加され、奥様は来訪者とお茶を飲みながら談笑、その間に「ご主人は地域包括支援センターの職員と介護相談をし、方向性が見えた」と奥様の笑顔とともに喜んで帰られました。このような出会いが一つでも多くあることを願い、毎月第三火曜日午後1時半〜3時半に開いています。目印は桂川街道に出した、キッズボランティアさんが書いてくれた看板です。

当時67歳であったご入居者の平均年齢は85歳を超えてきております。

そして現在、ご入居者の約半数の144名の方が要支援、要介護認定を受けておられます。各専門職がいろいろな側面から自立支援をさせて頂き、最期の時までその方らしい生活を送っていただけるよう、職員は現状に安住することなく、より良いサービスを目指して日夜努力を重ねております。

しかしながら、「この数年、京都市内でもサービス付き高齢者向け住宅をはじめとする高齢者施設が次々と建設され、玉石混濁の中、競争も激化しております。

健康長寿でご入居者の平均年齢が高くなる一方で、今後は世代交代も加速することは否めません。ハード、ソフトの両面からさらに魅力あるホームを築き、入居率の維持向上と安定した経営基盤を作っていくことが求められます。ハードに関しては共用部の改修や居住環境の工夫、ソフトに関してはご入居者の「豊かで生きがいのある生活」を支えていくために、職員を計画的に採用して育成を行い、さらなる質の向上を図ることが課題となります。

最近の新聞で「逆風満帆」という言葉を目にしました。造語ですが、今まさにこの状況であると思っております。法人の基本理念「今のしあわせと未来の希望を」を念頭に、地域の方々の社会資源のひとつとしても貢献ができるような有料老人ホームを目指し、職員一丸となって邁進して参ります。

今後とも、各方面からのご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



にしがも透析クリニック

患者さまとの出会いを大切に

他県への転居に伴い、転院される患者さまがおられました。「透析をしていなければ出会えなかった。出会えてよかった」とやさしい言葉をかけて頂き、働いているスタッフが元気をもらいました。これからも透析患者さまとの出会いを大切に、安楽に生活を送るために少しでも支えになれる施設でありたいと考えます。



〒603-8471 京都市北区大宮西山ノ前町3-1  
TEL: (075) 495-1131 FAX: (075) 495-1144  
E-mail: nishigamo-hdc@room.ocn.ne.jp

にしがも舟山庵

ふれあいの会

毎月開催の入居者懇談会で、ご入居者から、「入居者懇談会」の名称の「入居者」が堅苦しく縛り付ける印象で自分たちの会に合わないのではとのご意見がありました。そこで、ご入居者で会の名称を検討された結果、みんなの気持ちが和らいだり、仲良く集えるような会にしたいとの事で「ふれあいの会」に決定しました。今後の会の運営が楽しみです。



〒603-8471 京都市北区大宮西山ノ前町3-1  
TEL: (075) 495-1121 FAX: (075) 495-1161  
E-mail: funayamaan@room.ocn.ne.jp

京都桂病院

恒例 夏祭り開催!

7月18日(金)午後6時から、恒例の研修医主催「夏祭り」を開催しました。今回は、研修医手作りの焼きそばとたこ焼き・ギョーザや生ビールの提供などに加え研修医や技師によるバンドの生演奏にダンスや手品も飛び出しビンゴゲームでは旅行や食事券が当たるなど大いに盛り上がりました。会場は若手を中心に200名近くが参加し冷房も効かないほどの熱気で溢れました。



〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17番地  
TEL: (075) 391-5811(代) FAX: (075) 381-4224  
E-mail: info@katsura.com

西陣病院

恒例の「ふれあい健康相談」開催

7月26日(土)、本館1階外来ホールにて、毎年恒例の「ふれあい健康相談」を開催しました。今年より認定看護師が3名になりましたので、健康相談ブースも増やしました。やはり、女性の方にはスキンケアブースの「お肌の潤いチェック」が人気でした。和やかな時間を外来患者様とご家族様、そして、近隣の方々とお過ごしことができました。



〒602-8319 京都市上京区今出川通七本松上ル  
TEL: (075) 461-8800 FAX: (075) 461-5514  
E-mail: nisijin@nisijin.net

北野保育園

心豊かに育てる子どもの笑顔

家庭食が外食産業に帰依しがちな昨今、和食中心でみんなと食する楽しさを味わう「給食」は、子どもたちの成長発達の源となっています。食育活動では、旬の食材や行事食、咀嚼力をつけるメニューの工夫、園芸活動での栽培や、いも掘り遠足等で収穫を経験し、感謝の心を大切に育てています。



〒602-8318 京都市上京区老松町103-60  
TEL: (075) 462-6491 FAX: (075) 462-9128  
E-mail: kyoto.kitanohoikuen@spice.ocn.ne.jp

松陽児童館

豊かな自然に恵まれて

西京区は豊かな自然に恵まれているので近隣へ館外活動に出かけます。学童クラブでは6月の遠足は歩いて「松尾大社・嵐山東公園」に行き、8月は「西芳寺川」に川遊びに行きました。秋は「天皇の杜」にミニ散歩です。天皇の杜は幼児クラブでも出かけます。児童館周辺も緑豊かで子ども達は自然に育まれて成長しています。



〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-28  
TEL: (075) 392-6311 FAX: (075) 392-6312  
E-mail: syouyou@kyo-yancha.ne.jp

京都桂川園

「たまかふえ」オープン

高齢の方や障害をお持ちの方、子育て中の方も「たまかふえ」近くに来た方々の気楽な溜まり場になればと思っています。7/15に第一目を開催。近くの一人暮らしの方、入所されている利用者様、地域の役員さんや役所の方が集まり一緒にオセロや将棋で楽しみました。何より一番の楽しみはワイワイガヤガヤおしゃべりする事のようなので。秋になれば、もっとたくさんの方が寄り道してくださるでしょうか。



〒615-8033 京都市西京区下津林東大般若町32  
TEL: (075) 391-1675(代) FAX: (075) 391-1640  
E-mail: info@katsuragawaen.com

京都厚生園

京都市西京区地域介護予防推進センター

平成18年6月に京都市から委託を受け事業を開始しました。西京区にお住まいの65歳以上の方(介護保険ご利用者を除く)を対象に、運動・栄養・口腔など介護予防のための各種教室の他、講話や講演会などの普及啓発活動を行います(今年度は京都桂病院にもご協力いただき教室等を開催します)。高齢者がいつまでもお元気でいきいきと暮らしていただけるように活動しています。【お問合わせ】TEL 075-392-7874(月～金)



〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46番地  
TEL: (075) 392-7870(代) FAX: (075) 392-0191  
E-mail: kswf@kyotokouseien.com

二条保育園

「無事カエル」

二条保育園の玄関先にたたずむカエルの置物。「無事カエル」子ども達が散歩や遠足に出かけ無事に帰れるよう見守っています。そして、この6月に3代目となる新しいカエルがやって来ました。知り合いの作家さんが譲って下さった物で、すぐに子ども達の人気者に。「いってきまーす」と元気に出かけて行く子ども達を、今日も静かに見守ってくれています。



〒604-8404 京都市中京区聚楽廻東町7  
TEL: (075) 841-0139 FAX: (075) 841-6019

昭和保育園

「こぶたクラブ」でほっこり

未就園児の子育て支援の日を紹介します。毎日子育てで忙しいママたちのホットスペース「こぶたクラブ」を毎月1回開いています。写真は親子でリトミックの日で、皆さんにとっても人気があり、たくさんのお友達が遊びに来てくれました。お話しは笑顔で帰って行かれる姿は、何とも嬉しい光景です。



〒605-0902 京都市東山区鞘町通七条下ル  
TEL: (075) 561-0091 FAX: (075) 561-0743

つばさ園

夏の行事

夏休みの行事は、それぞれのグループで子どもたちと話し合っ計画を立てます。和田浜・淡路島・竜宮浜・丹後。ところが今年は計画通りに行けたのは1グループだけ... そうです!台風12号・11号で暴風雨。唯一予定通り行けたグループは、子どもの日頃の行いが良いのか、職員が日々精進しているからか...



〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-28  
TEL: (075) 381-3650 FAX: (075) 393-4316  
E-mail: tsubasa@rondo.ocn.ne.jp

ライフ・イン京都

営業企画課

新年度より入居率向上の為、ホーム管理係から営業企画課と名称を変え心機一転いたしました。新しい営業スタイルに挑戦し、行催事の新企画にも力を入れ、秋の周年行事には、演芸会を中心に楽しく過ごして頂ける催しを考えています。入居者様の声を大切に、楽しい暮らしの提供に頑張っていきます。



〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46番地の2  
TEL: (075) 381-1870(代) FAX: (075) 381-1899  
E-mail: lifeinkyoto@lifeinkyoto.or.jp